

建学の精神 < 初代：柳澤 勝校長先生の言葉 > 昭和29年

《**勉学**：しっかりと勉強して下さい・**誠実**：まじめな中学生になって下さい・**親和**：友だちとなかよく学校生活を送ってください》

《学校教育目標》

【互いに人格を尊重し、ねばり強い実践力を持ち、主体的に行動できる人間を育成する。】

- 1 互いに人格を尊重し、思いやりのある豊かな心を育てる。 2 創造力を働かせ、物事に積極的に取り組む意欲を育てる。
- 3 何事にもねばり強く取り組む、主体的な実践力を育てる。 4 生命の尊さを知り、すすんで健康な体をつくる。
- 5 落ち着いて学習し、基礎的知識や技能を身につけ、伸ばす。

< 本年度の重点 >

- 1 生活力向上（あいさつ 時間 清掃 歌声）
 - * 相手意識に立ったあいさつ * チャイムで始まる授業 * 感謝の気持ちで自分と向き合う清掃
 - * 心をひとつにした歌声
- 2 学力向上（授業の充実 基礎・基本の定着）三観点の充実。PDCAサイクルの実施。
 - * 生徒の実態に応じたねらいの明確化。ねらい達成のための教師自身の振り返りの意識化と習慣化。
 - * 基礎基本の定着をはかり「できる・わかった」から、「生かし、活用できる」へ深化した授業展開。
 - * 家庭学習の充実（家庭学習の手引きの利用とルーチンワーク化からの脱却）
- 3 人間力の向上（人間関係の構築 部活動の充実）
 - * 相手のよさを認め、思いやり、力を合わせて成し遂げる喜びの体感

《授業》

- ・ 生徒を尊重する温かな心をもって個々の生徒に接し、「分かる授業」「楽しい授業」の実現
- ・ ねらいの明確化、メリハリのある授業展開、確実な見とどけ（的確な評価）をつなげた連続性のある指導。

《生徒会活動》

- ・ 学年を越えた協力と協働
- ・ 「自主」「自立」「自律」「主体的」な活動「～前向き・絆・温かい心～」
- ・ 「誠実」な取り組み

《部活動》

- ・ 「心」「身」とともに健全な成長をめざす活動
- ・ 自己コントロールし、人権に配慮した言動

ねがう生徒の姿

相手の立場に立って考えられる

自分らしさを発揮できる

明るく、たくましく取り組める

ねばり強く理解できる

みんなのために自分を活かせる

《生徒指導》

- ・ 生徒の「自己決定」「自己実現」を大切にしながら指導
- ・ 家庭との綿密な連携を図り、生徒の健全な成長を促す。

《登校支援》

- ・ 不登校生を出さない取り組み
- ・ 現不登校生を減らす取り組み
- ・ 生きがいづくり支援
- ・ 迅速な対応と外部機関との連携

《保護者・地域との連携》

- ・ 学校だより・学年通信等による地域への発信
- ・ 参観日の一日公開など
- ・ 地域とつながりながら、信州型コミュニティースクールの推進

《開かれた学級》と《豊かな人権感覚》

《人権同和教育・道徳教育》

- ・ 全教育活動の中で、自他ともに尊重し個性を認め合い、正義感や公正さを重んじる豊かな人間性を育てる。
- ・ 様々な人権課題に対する正しい知識を学び、人権意識の高揚を図り、それぞれの人権課題を解決するための実践力を養う。
- ・ 全教育活動を通じて、道徳的実践力の育成を図る。道徳的心情・判断力・実践意欲・態度を道徳的実践力と考える。

《教師の学び》

教職員の『人権感覚』を磨く

- ・ 教師の『人となり』、資質の向上を図る 研修実施
 - ・ 「人」として、生徒に抱く『畏敬の念』
 - ・ 生徒と共に、「課題」解決を通して人権感覚を養う
 - ・ 「尊敬」し合える、同僚・生徒との人間関係づくり
 - ・ 人権感覚を磨いた、生徒・同僚・保護者に対する言動
 - ・ 「誠実」な職務の遂行
 - ・ 「報」「連」「相」「確」「協働」
 - ・ 同僚性の構築と向上
- 人権問題、特に同和問題の正しい理解に努める